



Google Workspace for Education がアップグレード

先日、今まで利用していたGoogleのサービス“Google Workspace for Education”が、**Google Workspace for Education Plus**へとアップグレードしました。

お忙しい中、対応していただきました各学校代表の先生方、ありがとうございました。

今回は、そんな Google Workspace for Education Plus について紹介します。

1. Google Workspace for Education とは？

Google Workspace for Educationとは、Gmail・Googleドライブ・Classroomなどのツールを小中学校・高等学校で利用することができるサービスのことで、今まで附属学校園では、Google Workspace for Education の無料版を利用していました。

今回アップグレードした **Google Workspace for Education Plus** は、その有料版です。

2. アップグレードしたことで増えた機能は？

①Classroomの独自性レポート機能回数制限がなくなる

以前は、各Classroomにつき5回しか独自性を使うことができませんでした。しかし、今回のアップグレードで、**回数制限なし**で使用できるようになりました！

独自性レポート機能とは？

独自性レポート機能とは、主に、提出された課題に盗用の可能性がないかを確認することができる機能です。具体的な機能については、以下の通りです。

- 生徒が提出した課題を、数千億のウェブページ・4,000万冊以上の書籍と照らし合わせ、記載が被った箇所の引用元を報告してくれます。また、他の生徒の回答をコピーしていないかという点についても検知してくれます。
- 生徒も教師も使うことができます。
 - 生徒：課題提出前に「引用元が明記されているか」「引用方法が正しいか否か」についてセルフチェックすることができる
 - 教師：生徒の課題提出後、盗用の可能性がある課題を確認することができる

Classroomに課題を投稿する際、「盗用(独自性)を確認する」にチェック☑をつけることで使用することができます。

<https://www.dsk-cloud.com/blog/originality-student-report-in-google-classroom>

②Googleミートの機能が增える

- 会議への参加可能人数が最大500人に！
※アップグレード前は100人
- ブレイクアウトセッションができるようになる
- 出席状況を確認することができる
- ビデオ会議中にアンケートを実施することができる

新しい機能について
質問や相談がある
ときは、ぜひGIGA
サポーターまで😊

新しくなったGoogle Workspace for Education Plus、ぜひご活用ください。